

Lesson6 おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回作品づくりと一緒にDIYの基礎知識を紹介していきます。第6回の作品は「小さなスパイスラック」です。高さが30cm弱と小ぶりのラックなので、キッチンや食卓でも活躍します。さらに、スパイスの転落防止の構木つきで使いやすいですよ。基礎知識は、塗装について教わります。

◇小さなスパイスラック◇

材料

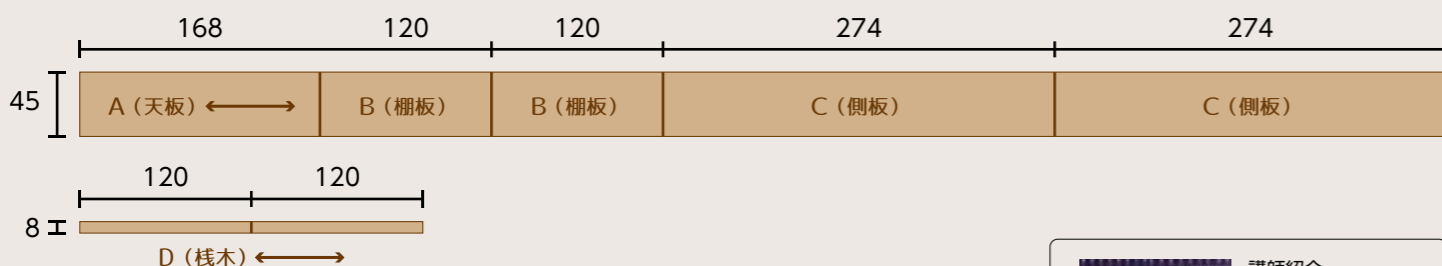
杉板 [A天板]168×45×12×1 [B棚板]120×45×12×2
 [C側板]274×45×12×2 [D棧木]120×8×8×2
 スリムビス25ミリ12本、スリムビス16ミリ4本、木工用ボンド、紙やすり(180番)
 ※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm
 ※木材は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。
 お手持ちの木材のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです。
 ※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントとUVクリアコートを使用しています。

道具

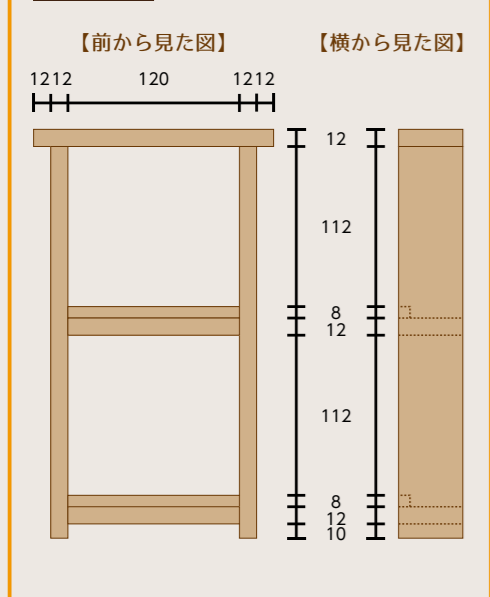
ドリルドライバー、ドリルビット(2mm)、ドライバービット(+1)、定規、スコヤ、キリ、ヘラ(ボンド用)、塗装用スポンジ・ウエス、木枠や捨て板等



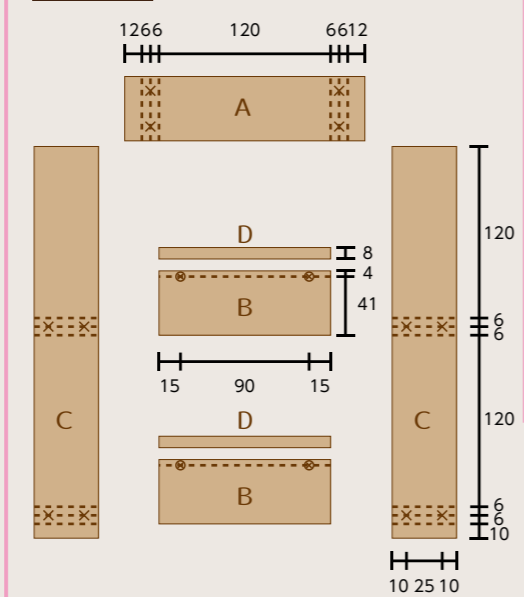
本取り図 単位：mm(ミリ)



完成図 単位：mm(ミリ)



加工図 単位：mm(ミリ)



講師紹介
 スマイルウッド代表
 岡さつきさん
 伊賀市笠部で「スマイルウッド」おうち木工教室を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという想いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

- × スリムビス25mmのビス位置
- ⊗ スリムビス16mmのビス位置
- 下穴・ビス位置・合わせ位置をつけるためのえんぴつ線
- 木目の方向

スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりの多い木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーバリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

住所 伊賀市笠部 533
開講時間 水曜・土曜 13:30~17:00
 ※応相談。要電話予約
TEL 080-7041-6483
HP <http://smile-wood.com/>



作り方

①印をつける
 定規やスコヤを使って、部材の内側(接着面)にビス位置や合わせ位置の印をつけます。

②下穴をあける
 ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。2ミリのドリルビットを付けたドリルドライバーで、ビス位置に下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いてあげましょう。

③組み立て
 接着面にボンドを塗り、ドライバービット(+1)を付けたドリルドライバーでビス位置にビスを打ちます。組み立ての順番は次のとおりです。

③(1) B棚板とD棧木をつけます。

③(2) C側板と(1)をつけます。部材が合わさる部分をクランプでとめると、ずれにくくなります。

③(3) もう一枚のC側板と(2)をつけます。

③(4) A天板と(3)をつけます。

④やすりがけ
 紙やすりで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。

⑤塗装
 小さくきったスポンジで塗料を塗ります。今回はキッチンで使うので、一回目の塗装が乾いてからウエスを使ってUVクリアコートを塗ります。
 ※今回の基礎知識参照

「塗料は木目にそって塗りましょう」
 「はい！」
 講師 岡さつきさん
 編集者 S子

「天板だけ色を変えても、全体を一緒に染めてもいいですね」
 「本当にかわいい！早速キッチンで使います！」

今回の基礎知識！

【塗装について】

ホームセンターなどにはいろいろな種類の塗料があるので、どれを選べばよいのか迷う方もおられるでしょう。塗料にはそれぞれ、成分が木材に浸透するものや膜を作るもの、水性や油性など特性に違いがあります。用途に合わせて選びましょう。油性の塗料は主成分が有機溶剤なのでにおいが強く、うすめる時やハケなどを洗うときにはシンナーが必要です。

このコーナーで使用している塗料は、ミルク原料を使用した木材に浸透するタイプの水性塗料です。においもほとんどないので、屋内での作業にも適しています。水でうすめることができ、乾く前ならば汚れも水で洗い流すことができます。塗料が乾いてしまえば、水で落ちることはありません。ただし、キッチンや屋外などで使う場合には、塗料が乾いてからUVクリアコートなどを塗っておくとよいでしょう。紫外線を防いだり防水効果を高めることができます。

【色を塗り分ける】

天板を濃いピンクに塗ります。側板にマスキングテープをはって、塗料が付かないように保護します。

容器には塗料を少量ずつ出すようにします。スポンジに少しだけ塗料をつけます。

木目にそってスポンジを動かします。つけすぎないように注意しながら、好みの濃さまで塗り重ねます。

天板に塗った塗料がしっかり乾いたらマスキングテープで保護し、別の色で側板を塗ります。

おすすめディスプレイ

天板に三角ピラカンをつけると、壁かけにもできます。(写真中央) 下の空いたスペースにスパイスを飾ってもおしゃれですね！
 ※今回の作品は、スマイルウッドでも体験できます